



今月の表紙 足尾まつり



5月3日(日・祝)、足尾の春の恒例行事である足尾まつりが開催されました。この祭りは、銅山を守る鉱山神社へ奉納する山神祭の伝統を継承したものです。

すばらしい晴天に恵まれたこの日は、朝から足尾の4地区の山車が練り出し、町中を練り歩きました。

山車の上では、おかめやひょっとこに扮した子どもたちが元気な踊りを見せ、訪れた観客たちを楽しませていました。

池守新愛さん(足尾町)は、「お祭りには2歳の頃から参加しています。今年もとても楽しかったです。自分の地区は、とても一体感があるので最高です。今から来年が楽しみです」と、踊り終えた後ではじける笑顔で答えてくれました。



龍王太鼓を皮切りに日光レディー55のダンスやハワイアンバンド「ざんざん」の演奏とフラダンス、日光観光大使の涼風花さんの書道パフォーマンスなど、多彩なプログラムで盛り上がっていました。

一方、桜並木通りでは、県内外か



千葉県市川市から家族で訪れた小林さんは「桜は散ってしまいましたが、多くの人が一斉に踊るよさこいパレードは、想像以上にきれいでした。楽しそうに踊る姿に元気をもらいました」と笑顔で話してくれました。

鬼怒川温泉さくらまつり

4月19日(日)、鬼怒川温泉駅前広場と桜並木通りでさくらまつりが開催され、多くの観光客や市民でにぎわいました。

駅前広場で行われたステージは、

ら集結した「みんなで楽しく踊ろう会」のメンバー約380名がよさこいパレードを披露。一同がピンク色の法被に身を包み、観客を圧倒していました。

日光街道ニコニコ本陣グランドオープン

4月27日(月)、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣が今市の中心市街地にグランドオープンしました。まちなかにある道の駅としては県内初の施設です。

す。また、朝採り野菜や特産品など日光の自慢の品々が並ぶ商業施設や市観光協会などが併設され、オープン当日から大勢の来場者でにぎわっていました。

星昭和さん(福島県)は「カラオケもできて楽しい良い施設ですね。これからまちなかが発展することを祈ります」と話し、心に響く歌声を披露してくれました。



弥生祭

4月13日(月)～17日(金)にかけて弥生祭が行われました。宵祭、付祭とも東町から7台、西町から4台、計11台の花家体が練り出しました。

加者たちが息を飲んで祭りの進行を見守る場面もありました。オーストラリアから夫婦で訪れたアンドリュースさんは、「何も知らずに来たのですが、お祭りをやっていたのでラッキーでした。日光はとてもすばらしいところですね」と、興奮気味に英語で答えてくれました。



日光桜回遊

4月10日(金)～30日(木)、日光の門前町で桜を巡るイベント「日光桜回遊2015」が開催されました。

地域内には樹齢200年を超える古木が多く、特に御幸町にある岸野家や稲荷町にある虚空蔵尊、高田家のシダレザクラには、美しく咲き誇る姿を一目見ようと連日多くの見物客が集まりました。



湯西川水陸両用バス運行開始式

4月17日(金)に、湯西川で今年度の水陸両用バスの運行が始まりました。

は10便)運行されます。小雨が降るあいにくの天候でしたが、バスがダム湖に着水する瞬間には、乗客から大きな歓声が上がりました。

道の駅「湯西川」を出発した第1便の乗客約20人は、湯西川ダム湖を遊覧し大自然の景観を楽しみました。

初めて水陸両用バスに乗車した相原加奈さん(今市)は、「着水の瞬間は迫力があって楽しかったです。新緑や紅葉の時期が楽しみです」と話してくれました。

